

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年 7月 14日 ( 11:00 ~ 11:30 )
------------------	-----	-------------------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	大竹、花島、芦田、加茂、三森、松本、岡本、サトウ
--------------------	------	--------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	0人	0人	8人

前回の改善計画	利用開始時には本人の話しを傾聴して、心身の状態や日常生活の状態・自宅環境などをアセスメント情報として共有し、必要としている支援につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始前には事前面接を行い本人の話を傾聴して、得た情報はアセスメント情報として文書の回覧やLINE WORKS での発信、申し送りや会議の場を活用し職員間で把握、共有するための取組みを実施しました。利用開始後も支援の中で得た細かな情報を職員間で共有し、必要としている支援につなげました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	6	0	0	8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	6	0	0	8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	5	0	0	8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	3	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用開始前に事前面接を行い、本人の情報やニーズを把握し職員間で情報共有する体制が整っている。本人がまだ慣れていない時期には関係構築を意識した支援を行い、本人の不安に寄り添い安心して利用できるような声かけや環境作りに取り組むことができた。</p> <p>LINE WORKS 等を活用し、細かい変化の情報共有も職員間で円滑に行われていた。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用開始前の情報が少なく把握しきれない所もあり、必要としている支援が遅れてしまうことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>事前面接を含め事前に得ている情報は文書の回覧やLINE WORKS での発信、申し送りや会議にて職員間で共有し、利用開始時に本人や家族・介護者が必要としている支援を行なう。支援開始後も支援の中で得た情報を職員間で共有し、状況に応じたサービスを提供する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 8月 14日 ( 11:00 ~ 11:15 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 大竹、花島、芦田、加茂、三森、松本、岡本、サトウ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	0人	0人	8人

前回の改善計画	希望や不安など自身の感情を表現しにくいご利用者の気持ちを職員が言語化し、チームで情報共有し、本人の目標「～したい」を目指した日々のかかわりを目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の言葉として出ない気持ちや表現しにくい希望をくみ取れるように、情報を会議や申し送り、LINE WORKS にあげ、チームで話し合っ言語化し情報共有している。利用者とのコミュニケーションをとる中で「～したい」こと「興味があること、やってみいたいこと」を聞き取り支援に繋げ、目標を目指した日々のかかわりはおおよそできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	8	0	0	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	8	0	0	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	0	0	8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>得た情報は共有し、全体で対応できるように心掛けている。利用者が言葉で表現できない部分は目線や表情、身振りから何となくではあるが日々の生活と当てはめて対応ができている。本人の目標を目指した日々のかかわりをチームで意識してどう関わっていけばいいか共有し、実践した内容は記録に残し必要な情報は LINE WORKS にあげて申し送りや会議で話し合っ次の対応に活かし、できることを長く継続してできるよう取り組んでいる。ケアを進める上でご家族や本人と定期的に面談を実施し、課題、ケアの方針、次の支援など情報共有し理解を深めている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>現状の支援について“なんとかできている”部分が多いため、日々のかかわりの内容は記録に残し必要な情報は LINE WORKS にあげ、申し送りや会議で利用者の希望や目標を目指してどう関わっていけばいいかを考えていく必要がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>日々のかかわりの中で得た情報をチームで共有し、申し送りや会議の場で本人の目標「～したい」を目指した関りを振り返り、次の対応を検討していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 8月 14日 ( 11:15 ~ 11:30 )

3. 日常生活の支援

メンバー 大竹、花島、芦田、加茂、三森、松本、岡本、サトウ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	0人	0人	8人

前回の改善計画  
ケアの質の維持・向上のため、日々の支援での成功例やひやりハットなどをご利用者個々に情報をまとめて、気持ちや体調の変化に気づけるように共有し即時対応ができるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
LINE WORKS のノートと訪問介護計画書に各利用者の情報をまとめて、チームで情報を共有している。ケアの成功例は全体で共有し、失敗時も「ダメだった」ではなく細かい情報も記録し次に繋げる事ができている。会話や表情からも変化に気づけるよう観察の意識を持ち、気づいたことは情報発信しデータに残し共有し、即時の対応やヒヤリハットの作成、多職種や医療機関と連携することができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	6	0	0	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	3	0	0	8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	0	0	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	3	0	0	8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	3	0	0	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
利用開始前に情報を確認し、既存の利用者についても定期的に再確認しており、以前の暮らし方についてはチームで情報を持ち寄り10個以上把握できている。利用者その時の状態に合わせて食事や入浴、排泄等対応し、いつもと違う事やケアの成功例などLINE WORKS に情報をあげて全体で共有し即時対応ができるように支援。必要に応じて多職種や専門職と連携している。気持ちや体調の変化に気づいた時は即時に情報発信し、必要な支援を検討して実施できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
チーム全体では「以前の暮らし方」を把握できているが、個々の職員では自分の担当利用者の理解は十分できていても、その他の利用者について理解しきれていない部分がある。声にならない声の言語化はなんとかできているが、理解を深めきれていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
支援の中で得た情報はLINE WORKS にあげ、申し送りや会議にてチームで情報共有し、利用者一人一人の理解を深めて以前の暮らし方の把握や、声にならない声の言語化をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 9月 11日 ( 12:00 ~ 12:15 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 大竹、花島、芦田、加茂、三森、松本、岡本、サトウ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	0人	0人	8人

前回の改善計画	日々の業務の中で常にアンテナをはり、地域資源の情報を収集する。ご利用者が参加しているサークル活動や関わっている地域の方々と情報共有し、本人の現在のADL等に合わせた活動に参加できるよう支援し、関係が途切れないように地域での暮らしを支える。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の業務の中で地域資源の情報収集を行っており、地域包括のケア会議やケアマネ懇談会にも参加し、地域資源、多職種の情報収集に努めている。 ご利用開始の時点でこれまでの関係が途切れてしまっているケースも多いが、可能な限りこれまでの関係の情報を集めて現在の本人の状態に合わせた活動に参加できるように、地域との関係が切れないうち支援している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	5	0	0	8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援していますか?	3	5	0	0	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	6	0	0	8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	5	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人と家族、介護者や地域との関係が途切れないように、普段の支援での関わりの中からこれまでの生活スタイル、人間関係、在宅での過ごし方、自治会の行事や地域のイベントの情報を集めてチームで共有し、事業所として必要な支援を見極めて関わっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日常の支援に必要な情報は得ているが、これまでの生活スタイルや人間関係、事業所が接していない時間の過ごし方、民生委員や地域資源の情報など引き続き把握していき利用者の生活について理解を深める必要がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
観察の視点を持って支援にあたり、これまでの生活スタイルや人間関係、事業所が接していない時間の過ごし方、民生委員や地域資源の情報を収集してチームで共有して把握し、地域での暮らしを支える。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 9月 11日 ( 12:15 ~ 12:30 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 大竹、花島、芦田、加茂、三森、松本、岡本、サトウ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	2人	0人	0人	8人

前回の改善計画	自事業所だけでなく、地域資源を活用しながらご利用者が地域との関わりをもてるように支援を行うと共に、変化に合わせて適切なサービスを柔軟に提供していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域のコンビニや商店など買い物に同行し顔を覚えてもらう、何かに備えて連絡先を伝えるなどお店の方とのコミュニケーションや関りを持ってもらったり、地域資源を活用しながら利用者の状況に応じた柔軟な支援を実施できている。各職員が支援の中で得た情報をチームで共有し、日々の変化に合わせて支援を検討し臨機応変に対応することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4	4	0	0	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	3	0	0	8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	3	0	0	8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	0	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域資源を活用しながら利用者のその日その日の変化に合わせて対応や、適切なサービスを提供できている。観察の視点を持って支援にあたり変化があれば報告し、朝の申し送り、送迎時や訪問時、家族からの連絡も含め、利用者の状態の把握、チームで情報を共有し支援内容の検討を行い、日々の変化に応じた柔軟な支援ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域との関係は築けているが、より多方面との連携を広げて柔軟な支援ができるとよい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の変化に合わせて柔軟な支援を提供できるよう、家族と情報共有し、関りの中で地域の情報を幅広く得て地域資源を活用しながら安心して生活できる環境作りを進めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 10月 15日 ( 13:00 ~ 13:30 )

6. 連携・協働

メンバー 大竹、花島、石田、加茂、三森、松本、岡本、サトウ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	0人	0人	8人

前回の改善計画	地域の活動やイベントに参加し地域の方とコミュニケーションをとり、事業所の存在を広く知っていただくと伴にこちらも地域の情報を得て、交流や活動の場を広げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	可能な限り地域の活動や取り組みに参加し交流を広げ、サンコーポの住民の方やともカフェの参加者の方などを中心に事業所の存在や職員の事を知って頂けている。その中で地域の方と関わった際には、事業所の事も含め情報交換などを行っており、自身が直接参加していなくても他の参加した職員から情報を聞いている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	5	0	0	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	5	3	0	0	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	5	3	0	0	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	6	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>その他のサービス機関や自治体、地域包括支援センターとの会議には担当職員が出席して、その中で必要な情報は他の参加していない職員にも発信されている。地域の活動やイベントには利用者の状況を踏まえながら可能な限り参加しており、自分では行かなくても他職員が参加していたり、利用者と一緒に地域のイベントに参加しコミュニケーションをとりながら交流し、地域の情報、介護情報など共有するよう心掛けている。</p> <p>登録者以外の地域住民の来訪はコロナ禍以降少なくなっているが、地域包括や登録利用者の紹介を受けて来苑されたり、サンコーポの住民の方が声をかけて下さったり困った時に相談に来られる関係ができている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れる機会が増えると良い。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>その他サービス機関や自治体、地域包括支援センターとの会議、地域の活動やイベントに参加した職員はその内容や必要な情報を他の職員に発信し情報共有する。また、参加した際は地域の方と交流を持ち、事業所を知って頂き来訪の機会に繋げる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 10 月 15 日 ( 13:00 ~ 13:30 )

7. 運営

メンバー 大竹、花島、石田、加茂、三森、松本、岡本、サトウ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	0人	0人	8人

前回の改善計画	地域に必要とされる拠点であるために、地域の行事やイベントに参加したり積極的に地域と協働した取り組みを行い、事業所の存在や活動を広く知ってもらう。
前回の改善計画に対する取組み結果	清掃美化活動、無事ですタオル、認知症カフェなど地域と協働した取り組みを継続できている。その中で顔見知りの関係ができた、コミュニケーションをとり事業所の存在を知ってもらうよう努めており、地域の方々にサテライトの存在や取り組みの理解は広がって知って頂いている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	5	0	0	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	4	0	0	8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	4	0	0	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	5	3	0	0	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>申し送りの場や何かあった時など職員として意見を言うことができている。利用者、家族、地域の方からの意見や苦情があれば報告し内容を共有し、会議等で相談し話し合い対応し、その都度改善に努めている。</p> <p>積極的に行事やイベントに参加し、清掃美化活動や無事ですタオルなど地域と協働した取り組みを通して事業所の存在や活動を知って頂き、お声掛け頂いたり相談を受けるなど必要とされる拠点であるための関係作りができている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域に必要とされる拠点であるために、利用者や家族、地域の方からの声や要望に沿って地域と協働した取り組みを継続していくことが必要。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>利用者や家族、地域の方とコミュニケーションを取り意見や要望を把握し、地域に必要とされる拠点であるために要望に沿って必要とされる活動や地域と協働した取り組みを行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 11月 19日 ( 17:00 ~ 17:30 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 大竹、花島、石田、加茂、三森、松本、岡本、五十嵐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	0人	0人	8人

前回の改善計画  
 研修や地域連絡会に参加した職員がそこで得た知識や情報を会議録形式で、LINEWORKS等において発信し、他の職員へ伝達できる体制を整える。リスクマネジメントにおけるヒヤリハット等の基準を明確にし、全職員が事故防止につながるような意見を出せるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 研修を受けた職員は、報告書や伝達研修用のまとめを作成し書類として記録に残している。また、研修や地域連絡会に参加した職員は資料や必要な情報を LINE WORKS にあげたり、伝達研修を通して他の職員へ伝えることができおり、研修に参加していない職員も理解を深められる環境が整っている。ヒヤリハットは職員間で確認しながら基準を明確にしたうえで共有し、申し送りや会議の場で意見交換を行い改善策を検討し事故防止につなげている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4	4	0	0	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	4	0	0	8
③	地域連絡会に参加していますか	4	4	0	0	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	5	0	0	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 全職員が満遍なく研修に参加できるように配慮されており、研修を通して自身のスキルアップに努め自分に不足している点を理解して改善につなげる姿勢を持って取り組んでいる。参加した職員は資料や必要な情報を共有し、会議の場で伝達研修を行うことで他の職員にも内容を伝えている。研修に参加していない職員も、参加した職員が LINE WORKS に研修内容をあげることで情報を確認でき、必要な知識を把握できる体制が整っている。地域連絡会には担当職員が参加し、得た情報や意見を職場へ持ち帰って共有することで、地域の動向など職員全体で理解できるようにしている。リスクマネジメントに関する意見や気づきを職員同士で発信できる環境が構築されており、利用者一人ひとりのリスクを考慮しながら日々の対応を行い安全な支援につなげている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 業務に追われヒヤリハット報告の作成が遅れることがあり、すぐに職員間で情報共有できていないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 ヒヤリハット報告がすぐに作成できない時はまずは主な情報を LINE WORKS にあげて周知し、報告書作成後その内容を職員間で検討し対応方針を共有し、リスクマネジメントに取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 11月 19日 ( 17:00 ~ 17:30 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 大竹、花島、石田、加茂、三森、松本、岡本、五十嵐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	0人	0人	8人

前回の改善計画	職員間で声を掛け合い、スピーチロックや相手が不快に感じる言葉遣いに注意し、ご利用者の人権・プライバシーを守り、快適に過ごしていただく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員は研修で学んだ内容を日々のケアに取り入れ、互いに声を掛け合いながら利用者への言葉遣いに注意している。利用者にとって安全で安心できる介助を心掛け、必要な場面では言葉だけでなく介助によって危険がないよう配慮している。職員間でも話す場所や声の大きさ、電話応対などに注意し合い、利用者のプライバシーが守られるよう意識を共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	0	0	0	8
②	虐待は行われていない	8	0	0	0	8
③	プライバシーが守られている	3	5	0	0	8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	3	0	0	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	5	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待、スピーチロックや不適切な言葉遣いにつながらないように職員間で互いに注意し合っている。身体拘束や虐待に該当する行為は行っておらず、定期的な研修を継続して受講することで職員全体で意識の統一と再確認を図っている。プライバシー保護のため限られた空間の中でもロールスクリーンやカーテンで視界を遮る工夫を行い、音楽や映像、消臭などを取り入れて快適な環境づくりに努めている。個人情報について外部に漏れないよう施錠やカバーの使用など管理を徹底し、職員への周知を継続している。現在、制度利用者はいないが、必要な場合には成年後見制度も適切に活用してきた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の前で、その場に居ない他利用者の事はあまり話題に出さない方が良い。対面して話をしている利用者についての話題が出て来ない為かと思われる。利用者自身の話を聞く時間を増やし、目の前にいる本人の傾聴時間を増やして話題作りに努めた方が良いと思う。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
関わりの中で利用者の話を聞く時間を持ち、その人の事を理解する。利用者が不快や不安に思う言動が無いよう職員間で声を掛け合ったり研修で再確認し安心して快適に過ごせる環境を作る。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 翠燿会	代表者	理事長 津川恵美子
事業所名	小規模多機能型居宅介護 サテライトグリーンビル 勝田台	管理者	大竹 暁

法人・事業所の特徴	ご利用者一人一人の人格を尊重し、多職種と連携し住み慣れた地域での生活を継続が出来るよう、また地域住民との交流や地域活動へ参加し、今までのつながりを断ち切らない支援を行う。通い、訪問及び、宿泊を柔軟に組み合わせ、地域での暮らしを支援する。おとなの学校メソッド・生活総合機能改善機器【回想法・カラオケ・運動・口腔体操】外出企画を行い【楽しい・面白い】を共有しご利用者を笑顔にしていきます。
-----------	--

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	0人	1人	1人	0人	2人	1人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所自己評価の確認について、運営推進会議時、委員の方々にシートに沿って説明を行い、より理解を深めて頂き評価に当たっていただく。	運営推進会議の場でシートに沿って理解を深めるための説明はできなかったが、日々の取り組みについては報告できた。	スタッフ全員がラインを十分に活用して、スタッフ間の連絡を密に、改善計画が達成可能なものに立案されていると判断する。ICTや会議を駆使した迅速な情報共有と利用者一人一人の意見や背景を深く理解しようとしていることが伺える。	運営推進会議において日々の取り組み内容を報告し、自己評価シートについては内容を分かりやすいよう重点を絞って説明する。委員の方々に頂いた意見を職員間で共有し、改善計画に取り入れていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	担当職員を中心に感染症対策、衛生管理、整理整頓を行い、ご利用者が安心安全、快適に楽しく過ごせる環境作りを行う。限られた空間の中で、パーティションの活用などを工夫し、プライバシーの保護に努める。	委員を中心に感染症対策、衛生管理、整理整頓に取り組んだ。限られた空間の中でもロールスクリーンやカーテンで視界を遮る工夫を行い、音楽や映像、消臭などを取り入れて工夫して快適な環境作りに努めることができた。	今後はプライバシー保護の観点から「目の前の利用者との対話」に集中できる空間・時間管理をさらに徹底していけると良いと思う。駅からも近く、誰でも入れる場所だが不審者が入った時が心配。玄関ドアを親しみやすいリフトにして、採光ガラスを取り付ける等工夫している。利用者の皆さんが入りやすい様に工夫されている。	引き続き、感染症対策や衛生管理、整理整頓を継続するとともに、備品を活用してプライバシーに配慮した環境作りをする。利用者一人ひとりと落ち着いて対話できる時間・空間の確保を行う。また、不審者対応について職員間で対応を確認し、安心して利用できる環境維持に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	地域のサークルやイベントへの参加や、防災訓練、環境美化活動、認知症カフェなど自治会や地域包括支援センターと協働した取り組みを通して地域の方々と関わりを持ち、快い挨拶を心掛け、コミュニケーションをとり関係を築いていく。ステーションギャラリーにて作品展を開催し、事業所の存在や活動を広く知って頂く。	地域との取り組みに参加し事業所の存在や職員を知ってもらい、地域に必要なとされる拠点であるための関係作りができた。ステーションギャラリーでの作品展は2月に開催を予定しており、事業所の活動を広く知って頂き地域の方々と交流をもつ機会にしたい。	挨拶されると気持ち良いので住民の方にも声掛けを心がけて欲しい。今後も地域の方からの意見を運営に反映させ、困った時に気軽に相談できる(立ち寄れる)地域に根差した開かれた環境づくりに励んでいただければと思う。	地域行事や作品展への参加を通じて事業所の活動を知ってもらう機会を継続する。職員全員が地域住民への挨拶や声かけを意識し、日常的な関係づくりを大切にする。頂いた意見を運営に反映し、気軽に立ち寄り相談できる地域に根差した事業所づくりに取り組む。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	これまでの生活や人間関係、趣味活動を大切に、参加可能な地域のイベントやサークル活動等、関わりを継続できるように支援をして地域での生活を支援する。その内容は事例検討等で発信していく。	利用者の状態変化と共に参加可能なイベントや活動は限られてきているが、ファミリーフェスタや地域の作品展に出掛けて地域のグループや近所の方と関わる機会を作った。	地域のネットワークへの参入と本人の個別ニーズに基づく社会参加の両面から着実に遂行されている、今後は更に地域に根差したキーパーソン(民生委員等)との連携を深めることでより強固な支援体制が構築されるのではないのでしょうか。ご本人の生活歴を生かし、人との関係や地域との繋がりを大切にしながら支援を続けてもらえたら良いのではないのでしょうか。	利用者の状態や希望に応じて、無理のない範囲で地域行事や交流の機会を継続する。地域のネットワーク参加を進めるとともに、民生委員など地域のキーパーソンとの連携を強化する。本人の生活歴や人とのつながりを大切にし、個別ニーズに沿った社会参加の支援を行っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議にて活動や地域での取り組みを報告し、事例検討や地域の課題を話し合い、ご利用者の地域での生活、地域の課題に委員の方と一緒に取り組んでいく。	取り組みの報告は毎回実施できた。事例検討は7月に行った。地域の課題として防災、認知症カフェ、予防体操、ゴミ出し等について話し合い一緒に取り組むことができた。	今後は地域住民が更に気軽に立ち寄れる機会を増やすことで、地域のセーフティネットとしての機能をより強固にしていけるのではないのでしょうか。地区の高齢者サークル、長寿会とも交流していければよいのではないのでしょうか。	運営推進会議での取り組み報告や事例検討、地域の課題への取り組みを継続する。高齢者サークルや長寿会との交流を通じて住民が気軽に立ち寄れる機会を増やし、地域のセーフティネットとしての役割を強化していく。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練に参加し、事業所の防災訓練に管理組合、自治会、地域包括支援センター、運営推進委員等に参加頂き、災害時の連携、職員の動き、その備えについて協議する。	地域の防災訓練、無事ですタオール運動に参加し、備えや連携について協議した。事業所の防災訓練は12月に実施予定。BCPについて研修に参加し、職場内で伝達研修を行った。	地域防災に参加して、自治会防災会の「無事ですタオール」にも積極的に支援されている。事業所の防災並びに災害対策に関しては、遺憾ながら良く解りません。訓練はマンション関係の方の参加もあり、地域の理解と協力を得ながら取り組まれている姿勢は素晴らしい。	地域の防災訓練や無事ですタオールへの参加を継続し、自治会・管理組合との連携を深める。事業所の防災体制や避難訓練について地域にも周知し、今後も地域と協力しながら、防災・災害対策の実効性向上に取り組んでいく。